

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年8月9日
【四半期会計期間】	第109期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	藤倉化成株式会社
【英訳名】	FUJIKURA KASEI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 加藤 大輔
【本店の所在の場所】	東京都板橋区蓮根三丁目20番7号 （本店所在の場所は登記上の住所であり、実際上の本社業務は本社事務所で 行なっております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝公園二丁目6番15号黒龍芝公園ビル 藤倉化成株式会社本社事務所
【電話番号】	03（3436）1101(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 下田 善三
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 藤倉化成株式会社本社事務所 （東京都港区芝公園二丁目6番15号黒龍芝公園ビル）

（注） 上記の当社本社事務所は金融商品取引法の規定による縦覧場所ではありませんが株主等の便宜のため備え置きます。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第108期 第1四半期連結 累計期間	第109期 第1四半期連結 累計期間	第108期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年6月30日	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	14,321,410	13,660,951	55,207,031
経常利益 (千円)	947,656	662,158	3,168,657
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	591,978	433,689	2,032,610
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	21,377	542,674	1,416,822
純資産額 (千円)	35,175,460	36,420,798	36,158,476
総資産額 (千円)	51,479,118	52,231,396	51,940,015
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	18.60	13.63	63.86
自己資本比率 (%)	62.7	64.3	64.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指数等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢や所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移いたしました。海外においては米中の通商摩擦や英国のEU離脱問題などにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当第1四半期連結累計期間の売上高は136億61百万円（前年同期比4.6%減）となり、営業利益は5億61百万円（同37.4%減）、経常利益は6億62百万円（同30.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億34百万円（同26.7%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、主力の自動車向け市場において、欧州及び中国での販売が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は57億17百万円（同5.8%減）となり、営業利益は1億67百万円（同60.8%減）となりました。

塗料

建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、新築住宅向け市場において、新製品の販売が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は36億12百万円（同6.6%増）となり、営業利益は2億92百万円（同14.5%増）となりました。

電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』）などを取扱う電子材料部門におきましては、国内での需要が低調に推移する中、ほぼ前年並みの売上高を確保いたしました。

この結果、売上高は6億95百万円（同0.4%減）となり、営業利益は26百万円（同2.2%減）となりました。

化成品

トナー用レジン、樹脂ベース（『アクリベース』）やメディカル材料などを取扱う化成品部門におきましては、対外診断薬原料用ラテックスの販売が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は9億97百万円（同0.5%減）となり、営業利益は1億3百万円（同70.9%増）となりました。

合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、中国向けの需要が縮小する中、国内の車載用などの市場において販売を強化しましたが全体をカバーするには至らず、この結果、売上高は26億79百万円（同16.1%減）となり、営業損失は27百万円（前年同四半期は営業利益1億27百万円）となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産・負債・純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億91百万円(前連結会計年度末比0.6%)増加し、522億31百万円となりました。

流動資産

たな卸資産の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ2億55百万円(同0.8%)増加し、316億72百万円となりました。

固定資産

リース資産の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ36百万円(同0.2%)増加し、205億59百万円となりました。

流動負債

未払法人税等の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ69百万円(同0.5%)減少し、127億69百万円となりました。

固定負債

リース債務の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ98百万円(同3.3%)増加し、30億42百万円となりました。

純資産

利益剰余金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ2億62百万円(同0.7%)増加し、364億21百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.2%から64.3%へと0.1ポイント増加となり、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末より7円32銭増加し、1,055円71銭となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対応すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、6億73百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	84,000,000
計	84,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	32,716,878	32,716,878	東京証券取引所 市場第1部	単元株式数 100株
計	32,716,878	32,716,878	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	32,716,878	-	5,352,121	-	5,039,624

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 887,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,824,900	318,249	-
単元未満株式	普通株式 4,278	-	-
発行済株式総数	32,716,878	-	-
総株主の議決権	-	318,249	-

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1000株(議決権の数10個)含まれております。
2. 「完全議決権株式(自己株式等)」の欄はすべて当社の保有の自己株式です。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
藤倉化成(株)	東京都板橋区蓮根三丁目20番7号	887,700	-	887,700	2.71
計	-	887,700	-	887,700	2.71

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,098,715	13,743,020
受取手形及び売掛金	3 11,047,343	3 11,288,761
商品及び製品	3,560,597	3,680,554
仕掛品	81,990	69,912
原材料及び貯蔵品	2,042,549	2,232,765
その他	709,035	778,238
貸倒引当金	123,097	121,086
流動資産合計	31,417,132	31,672,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,650,978	11,731,069
減価償却累計額	6,345,144	6,447,778
建物及び構築物(純額)	5,305,834	5,283,291
機械装置及び運搬具	13,627,760	13,839,840
減価償却累計額	11,274,224	11,406,132
機械装置及び運搬具(純額)	2,353,536	2,433,708
工具、器具及び備品	4,795,511	4,854,440
減価償却累計額	3,815,260	3,895,863
工具、器具及び備品(純額)	980,251	958,577
土地	4,532,259	4,545,047
リース資産	289,700	560,981
減価償却累計額	191,154	207,828
リース資産(純額)	98,546	353,153
建設仮勘定	191,162	126,301
有形固定資産合計	13,461,588	13,700,077
無形固定資産		
ソフトウェア	273,752	262,954
その他	1,031,561	1,015,666
無形固定資産合計	1,305,313	1,278,620
投資その他の資産		
投資有価証券	2,418,283	2,399,865
長期貸付金	24,554	72,482
繰延税金資産	627,923	566,755
その他	3,123,643	2,979,854
貸倒引当金	438,421	438,421
投資その他の資産合計	5,755,982	5,580,535
固定資産合計	20,522,883	20,559,232
資産合計	51,940,015	52,231,396

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 7,022,381	3 7,131,674
短期借入金	2,623,230	2,719,170
未払法人税等	402,400	129,051
未払費用	1,084,538	1,117,827
賞与引当金	576,871	306,464
リース債務	45,246	77,116
その他	3 1,083,179	3 1,287,490
流動負債合計	12,837,845	12,768,792
固定負債		
繰延税金負債	105,643	105,972
退職給付に係る負債	2,383,537	2,386,980
長期未払金	125,998	120,958
リース債務	54,499	150,777
その他	274,017	277,119
固定負債合計	2,943,694	3,041,806
負債合計	15,781,539	15,810,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	22,590,889	22,769,945
自己株式	524,976	524,976
株主資本合計	32,458,233	32,637,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	372,825	324,499
為替換算調整勘定	843,794	979,812
退職給付に係る調整累計額	305,370	339,155
その他の包括利益累計額合計	911,249	965,156
非支配株主持分	2,788,994	2,818,353
純資産合計	36,158,476	36,420,798
負債純資産合計	51,940,015	52,231,396

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	14,321,410	13,660,951
売上原価	10,092,627	9,702,775
売上総利益	4,228,783	3,958,176
販売費及び一般管理費	3,333,449	3,397,602
営業利益	895,334	560,574
営業外収益		
受取利息	11,527	15,837
受取配当金	27,002	87,502
固定資産賃貸料	17,466	17,942
その他	35,786	38,318
営業外収益合計	91,781	159,599
営業外費用		
支払利息	9,024	10,733
為替差損	17,249	38,442
その他	13,186	8,840
営業外費用合計	39,459	58,015
経常利益	947,656	662,158
税金等調整前四半期純利益	947,656	662,158
法人税、住民税及び事業税	166,992	125,708
法人税等調整額	102,400	79,156
法人税等合計	269,392	204,864
四半期純利益	678,264	457,294
非支配株主に帰属する四半期純利益	86,286	23,605
親会社株主に帰属する四半期純利益	591,978	433,689

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	678,264	457,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118,226	47,826
為替換算調整勘定	576,883	135,753
退職給付に係る調整額	21,661	33,785
持分法適用会社に対する持分相当額	26,193	31,238
その他の包括利益合計	699,641	85,380
四半期包括利益	21,377	542,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,851	487,596
非支配株主に係る四半期包括利益	50,474	55,078

【注記事項】

(会計方針の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従って、リース債務は、適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定しており、使用権資産はリース債務と同額を計上する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が当第1四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入等に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
東北藤光(株)	80,000千円	東北藤光(株)	80,000千円

2 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	35,095千円	20,233千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	217,958千円	155,931千円
支払手形	376,408	293,259
その他(設備関係支払手形)	65,760	141,366

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	407,969千円	372,037千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	254,633	8	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	254,633	8	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	6,071,131	3,388,997	687,768	1,002,325	3,171,189	14,321,410
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	10,094	119	22,529	32,742
計	6,071,131	3,388,997	697,862	1,002,444	3,193,718	14,354,152
セグメント利益	426,854	254,649	26,578	60,221	127,127	895,429

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	895,429
セグメント間取引消去	95
四半期連結損益計算書の営業利益	895,334

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	5,716,925	3,612,093	676,384	997,174	2,658,375	13,660,951
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	18,496	68	21,048	39,612
計	5,716,925	3,612,093	694,880	997,242	2,679,423	13,700,563
セグメント利益又は損失()	167,340	291,526	25,997	102,908	27,430	560,341

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	560,341
セグメント間取引消去	233
四半期連結損益計算書の営業利益	560,574

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	18円60銭	13円63銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	591,978	433,689
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	591,978	433,689
普通株式の期中平均株式数(株)	31,829,167	31,829,164

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

藤倉化成株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 米村 仁志 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 表 晃靖 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている藤倉化成株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、藤倉化成株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。